

全 員 協 議 会 記 録

令和5年6月16日（金）
10時48分～11時17分
全 員 協 議 会 室

【出席議員】

笹田議長、川神副議長

肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、村武議員、川上議員、
柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、
永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

【執行部】

市長、副市長、教育長、総務部長、地域政策部長、

【事務局】局長、次長、大下書記

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 令和5年度浜田市総合防災訓練について (総務部)
- (2) その他

2 第1回浜田市議会防災訓練の実施内容について

(令和5年6月23日（金）本会議終了後)

3 陳情付託先について

4 地域井戸端会の報告書について

5 その他

- (1) 自由討議について
- (2) 令和5年度島根県市議会議長会議員研修会について
(日時：令和5年7月11日（火）13時30分～ 場所：あすてらす)
- (3) 令和5年6月浜田市議会定例会議ケーブルテレビ放送及び再放送について
- (4) その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[10 時 48 分 開議]

○議長

ただいまから全員協議会を始める。早速議題に入る。

1 執行部報告事項

(1) 令和5年度浜田市総合防災訓練について

○議長

総務部長。

○総務部長

(以下、資料を基に説明)

○議長

ただいまの報告について質疑等はないか。

○川上議員

参加人数が6,943人とある。この集計方法を教えてほしい。

○総務部長

参加できるか照会し、参加予定人数を報告いただいた。その積上げである。

○川上議員

では、これは参加数ではないと理解して良いか。

○総務部長

各団体から集約してもらったもので上げているので、参加された方と知っている。

○川上議員

先は事前に報告を受けた数と言われ、今度は実際に参加された方と言われた。どちらが本当か。

○総務部長

6月6日に集計したもので、参加された数字を上げている。

○岡本議員

説明の4番「住民からのご意見」について意見を述べたい。以前こういった訓練をされたときにもこういう状況が起きたのだろうと思うが、6月4日は市民一斉清掃に当たっていて、草刈りや町内行事等と日程が重なっている。私の関わる地域で防災訓練に出た方の評価は非常に分かりやすく、訓練して良かったという評価は受けている。浜田地域に限ってかもしれないが、市民一斉清掃は6月の第1日曜日との取決めがあるようで、慣例的に町内行事として入れているので、そういうことをぜひ考慮していただきたい。

案内では次回は地震・津波対応とのことで、非常に関心が高い。いろいろな行事が重ならないようなご配慮を願う。

○総務部長

市民から、その日で良かったという意見もあれば、その日は掃除の日だったという声もあった。私どもの今回の反省の中で、どの日を設定するのが良いだろうか非常に悩んだ。過去を拾ってみると、第1日曜だったことも第2日曜だったこともある。市民一斉清掃がこの時期だということも、かつてあったと承知している。

また一方で、従来からずっと第1週に避難訓練をやってこられた所もあるし、地区によっては7月第1週に大規模に実施されている所がある。したがって、こういった形で訓練をやっていくか、例えば時間をどう設定するのか、あるいは流れでやっていけないものがないか、そういったことを少し工夫していこうと思っている。

現在考えているのはやはり早い時期に日程と時間を決めて、皆に参画のお願いをしよう、それがほかの事業と重なるようであれば、それと併せて何かできないか研究しようと考えている。またそういったご意見があれば、お知らせいただければ検討する。

○布施議員

災害はいかなるときに起きるか分からない、それが訓練であって。私らはたまたま清掃していて、訓練があることも知っていた。朝礼のときに、災害が起きたときは皆このように気を付けよう、今日は清掃をするがこういう時期もあるのだと一言入れることで、皆の意識が変わった。いかなるときに起きるか分からないから訓練するのであって、清掃活動中にそういうことが起き得ることを知らせながら。日時設定も大事だと思うが、重なることはあるので、それは曲げないでやっていただきたい。私はそう思っているが、それについてどう思うか。

○総務部長

おっしゃったとおりである。全ての方が参加できる日を設定するのはなかなか難しい中、せめて出水期の前に一度はおさらいしておきたい部分があって、多分この時期にやってきたのだと思う。ただその一方で、掃除が重なる所がある、ほかの町内会行事と当たる所がある。であれば、例えばそういう中で一緒にできる形の訓練や、意識を持っていただくこともできると思うので、今いただいたようなご意見をしっかり私どもの中で整理して、有効な避難訓練を考えていきたい。

○大谷議員

いろいろな方がいろいろなことを感じられるのだろうと思うが、その中で、マンネリで変化がないといった批判もあるかもしれない。しかし、市役所の体制にしても各町内会にしても、年ごとに担当者が変わってくる。その中で円滑に物事が進むかどうかを確認するという意味では、成果になると思う。

防災無線が聞こえなかったという声も上がっているとのことだが、それも成果だと思う。悪いところがここだったというのを認識するのも成果なので。そうしたいろいろな見方があるので、総合的に善しあしを見るべきであると感じている。

いろいろ意見はあるかもしれないが、市役所内でまずは円滑に事がいっているのなら、それが成果だと思う。

○総務部長

おっしゃるとおり訓練が訓練であってしまうと、やっている意味がなくなる。やは

り積み重ねていって、例えば少しずつ段階やハードルを上げていく部分もあると思う。情報伝達訓練を市役所内でやる一方で、市民の全体的な避難行動訓練をやったのは、コロナ明けから2回目になる。このたび島根県の対策官が言われたが、これだけ大規模に市民に参加いただいている例はあまりないようである。市民の皆がすごく意識を高く持って参加されたことを非常に評価してもらった。一方で、やっている中で試行錯誤しているところもあるので、マンネリ化したり形骸化したりは望ましいことではないので、工夫していきたい。

加えて、例えば訓練をしていく中で一番よく言われるのが防災無線についてである。雨が降るとやはり聞こえにくかったり、しゃべる速度によっても聞こえにくかったりする。そういうのを何度かやる中で工夫していく。それからご承知のように、かねてから防災無線を使ってきていて、非常に老朽化も進んでいるしデジタル化も進んでいる。そういった中で課題となっている新しい形にするのをまさに検討していて、新たにどういう形が一番皆にお伝えできるか。市議会の中山間地域振興特別委員会からも、複数の手段を持ってお伝えできる形を考えよと言われた。今まさに検討中である。それは改めてご報告、ご相談する機会があろうかと思う。今もいただいた意見をしっかり担当課で検討した上で、市としての方針をお諮りして進めていきたい。

○市長

私からも一言。今回の防災訓練について様々な意見を頂戴した。多くの方に、市民参加型防災訓練に参加いただいたことに対してまずもってお礼を申し上げたい。

今総務部長が答弁したが、私からも少し補足させていただきたい。これまで浜田市防災訓練は、どちらかというと本庁を中心に広い場所で、自衛隊や警察の方など関係機関が集まっているいろいろなデモンストレーションも行いながらやってきた。それが平成30年から、むしろ本庁内の情報伝達の訓練に切り替えて行った。市民参加型で大規模に行うのは今年で2回目である。一部新聞には「形骸化」との言葉があったが。

それまで三隅や各地域では行っていただいていた所もあるが、これだけ災害が多く発生すると、やはり市民にも参加いただく訓練を行わなければいけないだろうということで、今回2回目の大規模な市民参加型訓練を行った。

またこれもご指摘があったように、昔から浜田市では6月第1週は清掃や草刈りの日でもある。それぞれが皆いろいろ重なって、今回いろいろなご迷惑をお掛けしたところがある。

総務部長を中心に現在検討中だが、とにかく早目に方針を決めようと。いつ、どのようにやるのか、草刈りや清掃の日を別の日にするのか、あるいは同日でも時間帯を変えてできるのかも併せて、なるべく早い時期に方針を決めて、来年以降もこういった市民参加型訓練は必要だろうと思っているので、またご案内させていただきたい。

○田畑議員

避難情報の伝達訓練並びに避難行動訓練を目的として実施されたのだろうと思う。防災無線が8時48分、いろいろあって10時25分には三隅町三保地域における防災無線の放送等はなかったと。三隅全域には防災無線の放送はなしだった、それはなぜかと

ということもあるのだろうが、老朽化して三隅の防災無線は非常に性能が悪くなっている。この現実を認識された上で、情報伝達手段を何にするかだと思ふ。市役所内部の、関係者の情報ももちろんだろうが、各地域に住まれる皆の避難を促す情報というのは防災無線しかない。浜田では屋外スピーカーが雨の際に聞こえない等々あるが、旧那賀郡は防災無線がほとんど整備されている中で、防災無線の現状、在り方そのものを検討しなければ、いくら情報伝達手段の訓練をしても情報が届かないのが現状だろうと思ふが、それについていかがお考えか。

○総務部長

ご指摘の部分はもっともだと思っている。ただ、これから入れ替える前の段階で、今のものでどうやっていくか。三隅はそもそも6月でずっとやってきておられる関係があるので、特に今回は放送なしで進めた形になった。新しいものを入れるのに合わせてまた訓練することも、工夫していきたいと思っている。貴重なご意見をいただいたので考慮していきたい。

○田畑議員

三隅の人は確かに防災意識が鋭い。なぜなら40年前に33人の方が亡くなり、3分の2に近い家屋、生活基盤が失われた。そういった意識が強いがためである。情報をどれだけ行政が出してやるか。情報提供手段はやはり浜田市が責任を持ってやるべきである。古い新しいの問題ではなく。年次計画で執行していくくらいの意気込みがないと、情報伝達手段の訓練は意味がないように感じる。20億かかったとしてもやるべきだろう。

○総務部長

大きな事業なのでここで即答できるものではないが、それに向けて準備を進めているのは先ほど申し上げたとおりである。したがってご心配されている老朽化を何とか解消できるように。そういうものが入ったら今度はそれに合わせて訓練していくといったことは考えている。入るまではどうしても時間が掛かるので、それまでは今あるもの、今のやり方を何とか精度を持って。特に三隅は何十年もやってきておられるので、それを生かしながら今度は新しいものにどう対応するか、しっかり検討していく。

○議長

ほかはないか。

(「なし」という声あり)

(2) その他

○議長

執行部から報告事項があるか。

○地域政策部長

浜田市ひとつづくり講演会の開催についてお知らせする。資料を見てほしい。

(以下、資料を基に説明)

○議長

ただいまの報告について質疑等はないか。

(「なし」という声あり)

ほかに執行部に確認しておきたいことがあればここでお願いします。

(「なし」という声あり)

以上で議題1を終了する。執行部は次の議題終了後に退席をお願いします。

2 第1回浜田市議会防災訓練の実施内容について

○議長

資料を見てほしい。

(以下、資料を基に説明)

この件について議員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

当日は議員ももちろん、執行部もお願いします。ここで執行部は退席されて構わない。

(執行部退席)

3 陳情付託先について

○議長

今定例会議で取り扱う陳情を6月1日木曜日13時で締め切ったところ、21件の陳情があった。お手元に配付した陳情付託表のとおり、総務文教委員会に12件、福祉環境委員会に2件、産業建設委員会に1件、議会運営委員会に5件、議会広報広聴委員会に1件、それぞれ審査を付託するのでよろしくお願いします。

4 地域井戸端会の報告書について

○議長

各班から報告書の提出があったのでご確認をお願いします。今後7月中に回答を会場に掲示できるよう、委員会等で対応を協議していただくことになる。よろしくお願いします。

5 その他

(1) 自由討議について

○議長

議員間で自由討議を行いたい案件が何かあるか。

(「なし」という声あり)

では今回は自由討議なしとする。

(2) 令和5年度島根県市議会議長会議員研修会について

○議会事務局長

(以下、資料を基に説明)

○議長

この件について何かあるか。

(「なし」という声あり)

(3) 令和5年6月浜田市議会定例会議ケーブルテレビ放送及び再放送について

○議会事務局長

(以下、資料を基に説明)

(4) その他

○議長

まず私から説明させていただく。浜田市議会傍聴規程及び委員会傍聴規程の一部改訂について。議会運営委員会で協議を重ね、法令審査会を経て、本日一部改正について交付及び告知をしている。タブレットも改正後の規則及び規程に更新しているので確認してほしい。

次に小学生による議会見学について。来週20日火曜日の午前中、三階小学校6年生が議会見学に来られる。私から議会の役割等を説明し、質疑応答の後、個人一般質問を傍聴していただく。傍聴されるのは1番目の牛尾議員の予定である。よろしく願います。

○議会事務局長

はまだ議会だよりの原稿締切りについて。委員会代表質問、個人一般質問の原稿締切りは6月26日月曜日の午後3時である。締切り厳守の上、よろしく願います。

○議長

議員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では全員協議会を終了する。

[11時 17分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 笹田 卓